

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 2 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2012～2014

課題番号：24246076

研究課題名(和文) アジアにおける公共調達標準契約モデルの開発

研究課題名(英文) Development of General Contract Model for Public Procurement in Asia

研究代表者

小澤 一雅 (Ozawa, Kazumasa)

東京大学・工学(系)研究科(研究院)・教授

研究者番号：80194546

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 35,100,000円

研究成果の概要(和文)：アジア諸国において共有可能な標準契約モデルのスコープを検討し、各国の特徴と運用を妨げない契約システムのあり方を構築し、アジア諸国の契約システムが、望ましい公共調達制度を目指して継続して改善を行えるようガイドラインの考え方を示した。また、公共調達標準契約モデル導入による効果と課題を明らかにするため、それぞれの国内市場に及ぼす影響、アジア諸国を含めた世界市場に及ぼす影響等を評価した。公共調達標準契約モデルの構築とこれを運用する契約システムの開発がこれらを推進する有力な手段となることが期待される。

研究成果の概要(英文)：The objective of this research is to develop a general contract model which can be applied for public procurement in Asia. The scope of general contract model which can be shared in Asia was investigated based on the comparative analysis on contextual and cultural issues in practices of public procurement in Asian countries. A general concept of contract system with a guideline for continuous improvement was proposed to achieve a rational public procurement system in Asia. Effects and problems on domestic and international market by introducing the new contract system were also examined. It is expected that the proposed model and contractual system will result in better infrastructure development in Asia.

研究分野：建設マネジメント

キーワード：建設マネジメント 公共調達 契約 アジア

1. 研究開始当初の背景

アジア地域の今後益々の発展のためには、必要なインフラ整備事業を早期に実施する必要があり、我が国建設産業や土木技術者が貢献すべき分野や領域は未だ大きく残されている。一方で、国内外の公共調達制度は大きく異なると言われる、国際機関等が実施する ODA 等の公共事業は、一般に欧米の契約モデルや技術基準等が多くの場合用いられている。しかし、契約文化がそれぞれ異なる地域においては、様々な運用がされており、アジア諸国の契約文化に根差した新しい公共契約モデルが求められているとも言える。現在、我が国で検討されている公共調達制度の再構築で目指すべき目標のひとつとして、アジア諸国の範となるべき公共契約モデルを示すことであり、このことは、将来の我が国の建設産業にとっても益することが大きいものと期待される。

2. 研究の目的

本研究の目的は、アジア地域における公共調達の標準契約モデルを開発することである。

アジア諸国の公共調達において共通して適用可能な契約システムを構築するため、公共事業における主要なアクターとそれらの間の契約構造、アクターの行動様態、契約を取り巻く環境特性等を明らかにし、アジア地域の調達規則の原型となる公共契約の標準モデルを提案する。

3. 研究の方法

(1) アジア諸国(台湾・インド・インドネシア・ベトナム・ミャンマー等)における契約構造・契約文化・契約制度に影響を与える周辺環境特性の計測を行い、日本も含めて各国の特徴を明らかにする。

(2) アジア諸国において共有できる標準契約モデルの範囲を検討し、アジアで共有できる契約システムのあり方を構築する。契約システムのあり方を検討する際には、契約当事者の利害関係だけでなく、公共事業によって恩恵を受ける各国の国民にとって望ましい状態が長期的に実現されるかどうかの視点(三方良しの精神)を取り入れる。

(3) 公共契約標準モデルの検証を行い、各国の公共建設市場の状況に応じて、その運用方法についても併せて提案を行う。さらに、この公共契約標準モデルを活用することによる市場への影響を評価し、その意義についても確認する。

4. 研究成果

(1) アジア諸国の契約システムの評価

契約システムを特徴づける、関係するアクター間の契約構造、契約の運用を支配する契

約文化、契約制度とその運用に影響を与える周辺環境特性を計測、評価し、アジア諸国の特徴を明らかにした。

(2) アジア諸国において共有できる契約モデルのシステム開発

得られたアジア諸国の契約特性の比較分析の結果から、共有可能な標準契約モデルの範囲を検討し、各国の特徴と運用を妨げない契約システムのあり方を構築。

アジア諸国の契約システムが、望ましい公共調達制度を目指して継続して改善を行えるようガイドラインの考え方を提示。

(3) 公共調達標準契約モデルの構築と検証
公共調達標準契約モデルを導入することによる効果と課題を明らかにするため、それぞれの国内市場に及ぼす影響、アジア諸国を含めた世界市場に及ぼす影響等を評価。

公共調達標準契約モデルの構築とこれを運用する契約システムの開発がこれらを推進する有力な手段となることが期待される。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 31 件)

橋本麻未・小澤一雅、建設企業による直庸技能者戦略検討モデル、土木学会論文集 F4、査読有、Vol.71 No.4、2015、pp. 189 - 198

小澤一雅、多様な入札契約制度を活用した価値の高いインフラ事業の創出、トンネルと地下、査読無、Vol.46 No.8、2015、pp.22-27

木下誠也、国際比較によるわが国建設産業の疲弊要因に関する研究、土木学会論文集 F4 特集号、査読有、Vol.70 No.4、2014、pp. 105 - 116

鈴木貴大・堀田昌英、公共調達における最低制限価格引き上げの理論的帰結：不連続な均衡解のもたらす技術優位性の均質化、土木学会論文集 F4、査読有、Vol.70 No.1、2014、pp.11-24

木村友哉・堀田昌英、受発注者のインセンティブ構造を踏まえた長期保証型契約の分析～アスファルト舗装工事を事例に～、土木学会論文集 F4、査読有、Vol.70 No.4、2014、pp. 95-104

Janmaimool P. and Watanabe T., Evaluating Determinants of Environmental Risk Perception for Risk Management in Contaminated Sites., International Journal of Environmental Research and Public Health (ISI and Scopus)、査読有、11(6)、

2014、pp.6291-6313
Nguyen Luong Hai and WATANABE, Tsunemi,
The Status Quo and Perspective for
Improvement of Public Works
Procurement Performance in Vietnam,
Journal for the Advancement of
Performance Information & Value、査
読有、Vol.6 No.1、2014
Lingling Wang, Tsunemi Watanabe and
Zhiwei Xu, Stakeholders' Risk
Perception of Sustainable Biomass
Power Plant Development---A Case
Study of Wangkui County, China.
Internet Journal of the International
Symposium on Social Management
Systems., Journal of Society for
Social Management Systems、査読有、
2014、SMS13-9988
Piyapong Janmaimool and WATANABE
Tsunemi, Risk Perception and
Integrated Environmental Risk
Management Based on Stakeholder '
Qualitative Risk Assessment: a Case of
Maptaphut Municipality, Rayong
Provinve, Thailand, Journal of Society
for Social Management Systems、査読
有、2014、SMS13-1056
浅野浩史・小澤一雅、海外 PPP 事業への
展開戦略立案のための市場調査に関す
る一考察、第 32 回建設マネジメント問
題に関する研究発表・討論会 講演集、
査読無、CD-Rom、2014、pp.115-118
橋本麻未・小澤一雅、建設業界における
重層下請構造の現状と課題、第 32 回建
設マネジメント問題に関する研究発
表・討論会 講演集、査読無、CD-Rom、
2014、pp.83-86
綱川 悠・小澤一雅、道路コンセッショ
ン事業者の海外進出事例分析、第 32 回
建設マネジメント問題に関する研究発
表・討論会 講演集、査読無、CD-Rom、
2014、pp.67-70
木下誠也、公共事業執行システムの将来
像、JACIC 情報、査読無、第 108 号、2013、
pp.5-14
木下誠也、海外における入札契約方式の
動向、道路建設、査読無、No.741、2013、
pp.40-42
廣瀬達也・鈴木貴大・堀田昌英、公共事
業の民間事業者からの発案に対するイ
ンセンティブ付与構造のモデル分析、土
木学会論文集 F4、査読有、Vol.69 No.2、
2013、pp.121-139
岩本宙也・堀田昌英、建設投資額の減
少時における企業の受注量格差分布非
対称的入札シミュレーションを用いた
大分県土木工事入札の事例分析、土木学
会論文集 F4 特集号、査読有、Vol.69
No.4、2013、pp.1_221-230
鈴木貴大・堀田昌英、公共調達における

最低制限価格引き上げの理論的帰結：不
連続な均衡解をもたらす技術優位性の
均質化、土木学会論文集 F4、査読有、Vol.
70 No.1、2013、pp.11-24
秀島喬博、小澤一雅、総合評価方式（加
算方式）における価格評価方法と応札行
動の比較分析、土木学会論文集 F4 特集
号、査読有、Vol.69 No.4、2013、pp.
1_145-157
田辺充祥・小澤一雅、英国道路庁 ECI 契
約の我が国の公共土木事業への適用性
評価、会計検査研究、査読無、第 48 号、
2013、pp.55-69
木下誠也、公共事業における建設コンサ
ルタント業務調達方式に関する国際比
較研究、土木学会論文集 F4 特集号、査
読有、Vol.68 No.4、2012、pp.1_169-179
21 Tsunemi WATANABE, Kazumasa OZAWA,
Nozomu MORI, Kenji KINOSHITA,
Increasing Performance in the
Japanese Construction Industry,
Journal for the Advancement of
Performance Information & Value、査
読有、Vol.4 Issue 2、2012、pp.161-172
22 高直人・小澤一雅、入札結果が応札行
動に影響することに着目した WTO 標準型
総合評価方式の現状分析、土木学会論文
集 F4、査読有、Vol.69 No.1、2013、
pp.1-11
23 高直人・小澤一雅、高度技術提案型総
合評価方式における入札結果の現状分
析、土木学会論文集 F4、査読有、Vol.68
No.3、2012、pp.211-219
24 天満知生・小澤一雅、国土交通省直轄工
事における設計施工一括発注方式の現
状と課題、土木学会論文集 F4 特集号、
査読有、Vol.68 No.4、2012、pp.115-124
25 秀島喬博・小澤一雅、公共団体および高
速道路会社の総合評価方式における入
札価格評価方法、第 30 回建設マネジメ
ント問題に関する研究発表・討論会 講
演集、査読無、2012、pp.69-72

〔学会発表〕(計 23 件)

Kazumasa Ozawa, Institution and
Finance, The 3rd PlanoCosmo & 10th SSMS
International Conference, 2015 年 10
月 26 日、Bandung(インドネシア)
木下誠也、公共施設の発注システムの我
が国の特異性、学術フォーラム、2014
年 9 月 16 日、日本学術会議講堂(東京
都港区)
木下誠也、海外との比較によるわが国公
共調達制度の道筋、公共調達に係る記念
講演、2014 年 7 月 8 日、愛媛大学南加記
念ホール(愛媛県松山市)
Tingyu An and Tunemi Watanabe, A
tentative exploration of incentives
to introduce long term relationship

between construction general contractor and subcontractor from a game-chain perspective、The 9th International Symposium on Social management Systems、2013年12月3日、Sydney(オーストラリア)
Eliza Rosmaya Puri and Tsunemi Watanabe、A concepyual model for comparative study of quality assurance practices in public roads、The 9th International Symposium on Social management Systems、2013年12月3日、Sydney(オーストラリア)
Eliza Rosmaya Puri and Tsunemi Watanabe、Structure of risk transfer in Indonesian public road projects、The 13th east Asia-Pacific Conference on Structural Engineering and Construction、2013年9月12日、北海道大学(北海道札幌市)
Tingyu An and Tunemi Watanabe、Changing perception on construction labor subcontractors tentative analysis on economic behaviors of parties involved in subcontracting business、The 4th International Symposium of Frontier technology、2013年7月27日、Shenyang(中国)
Tunemi Watanabe、Toward high performance through competition in the construction industry in Japan、RICS COBRA 2012、2012年9月11日、Las Vegas(米国)
Seiya Kinoshita、Comparative Study on Contractor Evaluation Procedures、The 8th International Symposium on Society for Social Management Systems、2012年5月4日、Kaohsiung(台湾)
An, Tingyu, Watanabe, Tsunemi、A Conceptual scheme for sustainable development of construction labor market in China、The 8th International Symposium on Society for Social Management Systems、2012年5月3日、Kaohsiung(台湾)

〔図書〕(計 1件)

堀田昌英・小澤一雅、技報堂出版、社会基盤マネジメント“Infrastructure Systems management”、2015年、286ページ

〔産業財産権〕

出願状況(計 0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：

国内外の別：

取得状況(計 0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

小澤一雅(OZAWA, Kazumasa)
東京大学・大学院工学系研究科・教授
研究者番号：80194546

(2) 研究分担者

渡邊法美(WATANABE, Tsunemi)
高知工科大学・経営学部・教授
研究者番号：30240500

堀田昌英(HORITA, Masahide)
東京大学・大学院新領域創成科学研究科・教授
研究者番号：50332573

木下誠也(KINOSHITA, Seiya)
日本大学・生産工学部・教授
研究者番号：50612652

マトウシュ ペトゥル(MATOUS, Petr)
東京大学・大学院工学系研究科・准教授
研究者番号：70508192

鈴木直文(SUZUKI, Naofumi)
一橋大学・社会学研究科・准教授
研究者番号：80456144

(3) 連携研究者

()

研究者番号：